

TIME & ECOLOGY
AMANO



第95期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

証券コード 6436

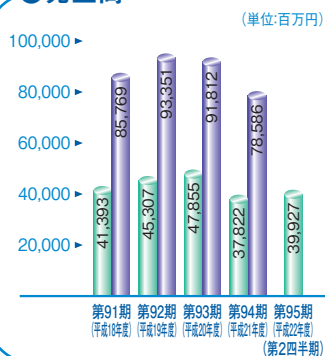
 **アマノ株式会社**

財務ハイライト（連結）

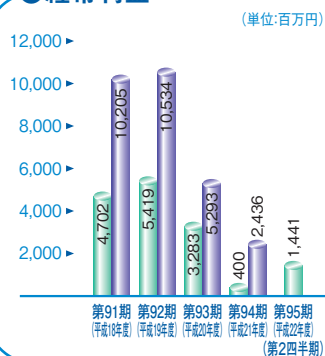
目次

財務ハイライト（連結）	1
株主の皆様へ	2
事業概況	3
TOPICS	7
連結財務諸表	11
主要指標の推移	13
会社概要、株式の状況	14
AMANOネットワーク	15
株主メモ	17

売上高

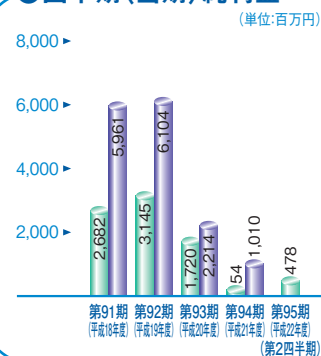


経常利益

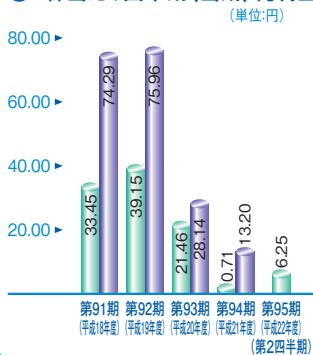


中間期(第2四半期) 通期

四半期(当期)純利益



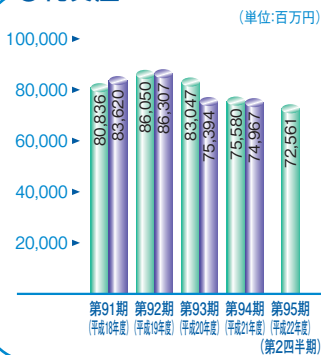
1株当たり四半期(当期)純利益



総資産



純資産



(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに「第95期中間報告書」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、創業以来、「人と時間」、「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、全社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値＋将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

当社は、平成20年4月から、連結成長戦略のもと持続成長と収益性向上を実現すべく新中期経営計画（3ヵ年）をスタートさせました。この計画実現に向け、当社および国内外のグループ各社は連携を一層強化し、各事業における市場・プロダクトのグローバル展開をはかり、総合提案ビジネスの拡大に注力しております。

当中間期の連結業績につきましては、売上高は、情報システムや環境システムの伸長を主因に増収となり、利益は、全社一丸となって原価低減、販管費削減に取り組み増益となりました。

中間配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、1株当たり13円とさせていただきます。

下期の経営環境につきましては、わが国経済は、輸出の停滞や円高等の影響から製造業を中心に減速感が強まるとともに、雇用・所得環境の改善も足踏みを続け、全体として景気回復の動きが鈍化するものと思われれます。

このような経営環境の中で、当社およびグループ各社は、新中期経営計画に基づき、企業価値向上のため、全社一丸となってチャレンジしてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



代表取締役社長 春田 薫

事業概況

●当中間期（第2四半期）連結業績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業部門においては、海外経済の回復テンポが緩やかに輸出の増勢が鈍化し円高も進行する中で、生産活動の減速感が強まりつつあり、また、家計部門においては、個人消費がエコカー補助金等を背景に一時的に増加したものの、雇用情勢は依然として厳しく所得環境の改善も一進一退であり、全体として景気回復の足取りが重くなっているものと思われます。

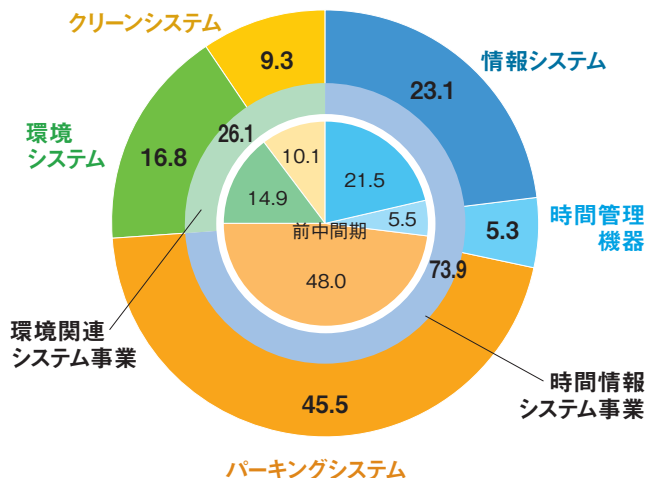
このような経営環境下において、当社グループは、新中期経営計画に基づく連結成長戦略のもと、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組み、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力するとともに、原価低減、販管費抑制にも努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は399億27百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益12億30百万円（前年同期比572.7%増）、経常利益14億41百万円（前年同期比260.2%増）、四半期純利益4億78百万円（前年同期比785.9%増）となりました。

部門別販売の概況は、以下のとおりであります。

《事業部門別売上構成比率》

（単位：%）



情報システム

就業・給与・人事・入室・食堂管理システム

当事業部門は、国内では、景気回復への動きが見られるものの、情報関連投資抑制の長期化、市場の競争激化など、事業環境は厳しい状況が続いております。一方、クラウドコンピューティング対応へと業界が変化する中で、新たな需要創出が見込まれています。

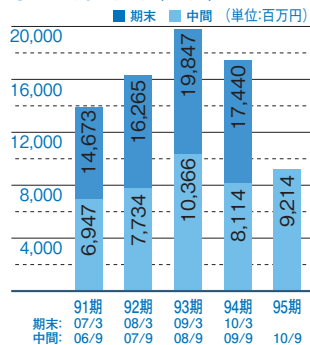
当社はこのような市場環境の中、労働時間の最適化、人時生産性向上、適正な人員配置管理、総額人件費コントロールなど企業におけるコンプライアンス、コストダウン両面から有効な顧客提案を展開してまいりました。またクラウドサービスの新たな提案による需要創出にも注力してまいりました。

当期の実績は、前年同期に比べ、ハードウェアは4億49百万円増収（20.7%増）、ソフトウェアは2億17百万円増収（14.3%増）、メンテ・サプライは92百万円増収（6.4%増）となりました。ハードウェア、ソフトウェアの増収は、自治体からの受注が堅調だったことによるものです。分野別には、就業システムは7億71百万円増収（20.7%増）、入室システムは46百万円増収（9.9%増）となりました。

海外の実績は、北米はアキュタイムシステムズ社が新規連結となり増収、欧州はホロス마트社が現地通貨ベースでは増収と堅調に推移したものの、為替換算レートの変動により円ベースでは減収、アジア地域は微増となり、全体では3億23百万円増収（前年同期比11.9%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は92億14百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

●売上高の推移(連結)



時間情報システム事業

時間管理機器

タイムレコーダー・タイムスタンプ

当事業部門は、国内では、新店舗の出店数減少や買換え需要の停滞が続くなど回復の兆しが見えないまま推移し、事業環境は厳しい状況が続いております。

当社はこのような市場環境の中、新小型タイムレコーダーを発売するとともに、パソコン接続タイムレコーダーのラインナップにICカードタイプの機種を投入し、新たな市場開拓に注力してまいりました。

当期の実績は、前年同期に比べ、新製品投入効果により売上・台数ともに増加し、1億4千万円増収（6.9%増）となりました。

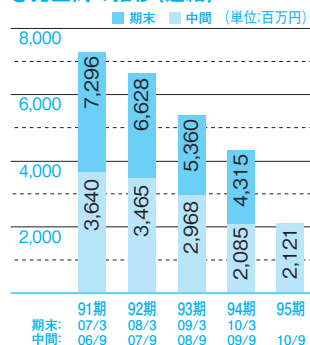
海外の実績は、北米、欧州ともに減収、アジアは増収となり、全体では23百万円減収（前年同期比3.1%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は21億21百万円（前年同期比1.7%増）となりました。



Time P@CK-IC

●売上高の推移(連続)



パーキングシステム

駐車場・駐輪場管理機器・マネジメントサービス

当事業部門は、国内では、温室効果ガス排出削減への取組み、交通渋滞緩和を目的としたパークアンドライド方式やカーシェアリングサービスの導入、電気自動車用充電スタンドの設置拡大など駐車場運営形態の多様化が進み、また、鉄道系ICカードを利用した決済手段の多様化によりドライバーの利便性向上が進むなど、駐車場を取巻くビジネス環境は大きく変化しております。

当社はこのような市場環境の中、駐車場経営の収益向上、効率化など顧客目線に立った提案活動を強化し、また、グループ会社との連携により機器販売から保守メンテナンス、駐車場管理運営サービスの提供等、トータルソリューション提案を強化するなど、更新需要の掘り起こしや駐輪場システム、専用ゲートシステムなどの新市場開拓にも注力してまいりました。

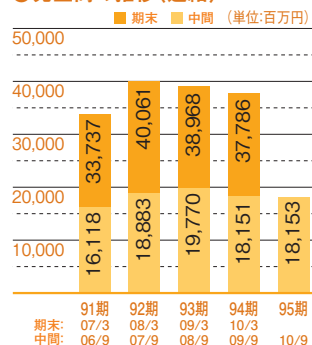
当期の実績は、前年同期に比べ、駐車場・駐輪システム機器は、大型システム物件が減少する中、中・小型システムの更新物件が増加し3億42百万円増収（5.9%増）、メンテ・サプライは36百万円増収（0.9%増）となりました。

なお、グループ会社 アマノマネジメントサービス株式会社による駐車場管理受託事業の車室数は2010年3月末に比べ7,600台増加（4.1%増）いたしました。

海外の実績は、北米は設備投資の抑制や大型案件の減少により大幅減収、欧州は低価格のシステム販売強化により増収、アジア地域は韓国、マレーシアの好調が続く増収となりましたが、全体では7億60百万円減収（前年同期比13.7%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は181億53百万円（前年同期比0.0%）となりました。

●売上高の推移(連続)



環境関連システム事業

環境システム

汎用集塵機・大型集塵装置・粉粒体空気輸送システム・
高温有害ガス除去システム・脱臭システム・電解水生成装置

当事業部門は、国内では、製造業の海外シフトが加速するものの、顧客の設備投資再開に伴う需要に支えられたほか、中国向け工作機械受注の好調にも牽引され、汎用集塵機の需要が増加するなど、事業環境は回復基調にあります。一方で、自動車産業はエコカー補助金制度終了や為替の影響により減産に転じ設備投資にも波及するなど、先行きに対する不透明感が増してきております。

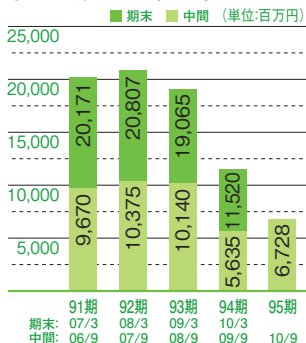
当社はこのような市場環境の中、海外進出企業への販売体制の強化、海外グループ会社との連携強化、中国現地生産拡大など、需要のあるところに経営資源をシフトさせ、アジア市場を中心に需要獲得に注力してまいりました。

当期の実績は、前年同期に比べ、汎用機は7億43百万円増収（46.8%増）、大型システムは68百万円の減収（3.0%減）、メンテ・サプライは3億18百万円増収（24.9%増）となりました。

海外の実績は、アジア地域における日系企業からの設備投資が持ち直し、受注が堅調に推移したことにより、全体では1億89百万円増収（前年同期比58.4%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は67億28百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

●売上高の推移(連結)



クリーンシステム

清掃機器・ドライケア清掃システム・マネジメントサービス

当事業部門は、国内では、ショッピングセンターの出店数減少や床材の変化に伴う機器需要の減少、清掃トータルコストの抑制などにより、事業環境は厳しい状況が続いております。

当社はこのような市場環境の中、全国規模で清掃機のデモンストレーション販売を強化、また、新たな床施工システムと保守メンテナンスによるトータルコストダウン提案等を通じて需要の掘り起こしに注力してまいりました。

当期の実績は、前年同期に比べ、清掃機器はパフイング機の減少に加え商業施設向け洗浄機も減少したことにより87百万円減収（8.1%減）、メンテ・サプライは46百万円減収（3.2%減）となりました。

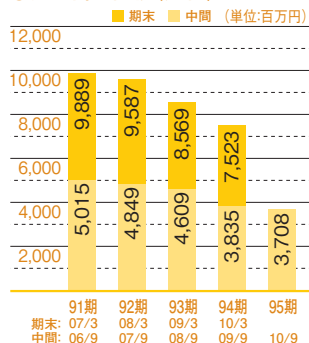
海外の実績は、北米は増収となったものの、欧州・アジア地域が低調で、全体では12百万円減収（前年同期比1.4%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は37億8百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

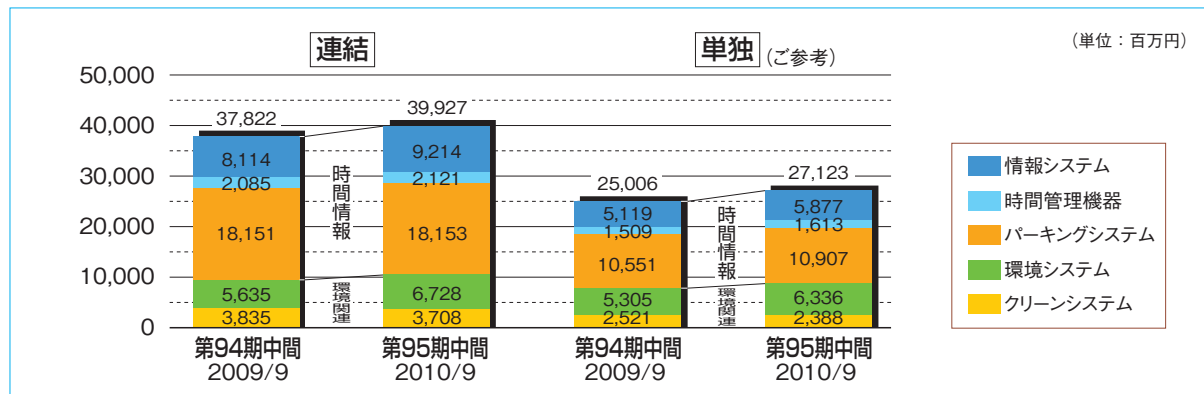


SE-430eSW

●売上高の推移(連結)



●部門別販売の状況



区 分	第94期中間期 2009年(平成21年)9月期		第95期中間期 2010年(平成22年)9月期		増 減			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	比 率 (%)		
時間情報システム事業	情報システム	連結	8,114	21.5	9,214	23.1	1,100	13.6
		単独	5,119	20.5	5,877	21.7	757	14.8
	時間管理機器	連結	2,085	5.5	2,121	5.3	35	1.7
		単独	1,509	6.0	1,613	5.9	104	6.9
	パーキングシステム	連結	18,151	48.0	18,153	45.5	1	0.0
		単独	10,551	42.2	10,907	40.2	356	3.4
小 計	連結	28,351	75.0	29,489	73.9	1,138	4.0	
単独	17,180	68.7	18,398	67.8	1,218	7.1		
環境関連システム事業	環境システム	連結	5,635	14.9	6,728	16.8	1,093	19.4
		単独	5,305	21.2	6,336	23.4	1,031	19.4
	クリーンシステム	連結	3,835	10.1	3,708	9.3	△126	△3.3
		単独	2,521	10.1	2,388	8.8	△133	△5.3
	小 計	連結	9,471	25.0	10,437	26.1	966	10.2
	単独	7,826	31.3	8,725	32.2	898	11.5	
合 計	連結	37,822	100.0	39,927	100.0	2,104	5.6	
	単独	25,006	100.0	27,123	100.0	2,117	8.5	
内 輸出売上高	単独	853	3.4	866	3.2	13	1.6	

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業別活動報告

情報システム・時間管理機器事業

『社員証Web注文サービス』

インターネットでスピーディに社員証 (IDカード) 注文

“安心・安価・迅速” をキーワードに2010年4月から開始した『社員証Web注文サービス』が好評です。

このサービスにより、インターネットに接続されたお客様のパソコンから社員証注文や送付先変更、カードデザイン確認、注文状況の照会・キャンセル等が手軽にスピーディに行えるようになりました。

アマノは、これまでも数多くの自治体・病院・学校や様々な企業に、職員証／社員証 (IDカード) を製作納品してきましたが、IDカードのデータは、社員番号・氏名・顔写真などの個人情報であり、発行するためには個人情報が記録された記録媒体 (CD-R他) を何らかの手段でアマノに送付していただく必要がありました。導入費用・運用費用が掛からないこの『社員証Web注文サービス』の開発により、お客様個人情報の輸送時の漏洩リスクが回避でき、輸送コストの軽減、さらに追加注文時の大幅納期短縮が可能となりました。



『Time P@CK無料体験セミナー』

全国で好評開催中

「Time P@CKシリーズ」は2001年の発売以来、中小規模事業所を中心に“快適な操作性”と“安心のフリーダイヤルサポート”が好評で、ロングセラーを続けているパソコン接続式タイムレコーダーの新標準機です。

環境に対応したカーボンオフセット付きICカードを使用する「Time P@CK-iC」(2009年12月発売)、エコマーク付きタイムカードを使用する「Time P@CK II」及び上位機種の「Time P@CK Professional II」(共に2010年6月発売)とパソコンでの勤怠データの編集・集計機能を強化し、各給与計算ソフトへの対応力をアップさせたシリーズが出揃いました。

現在、全国の主要各都市で『Time P@CK無料体験セミナー』を開催中です。簡便な操作性、パソコンに接続しての勤怠データ集計処理、各種の市販給与ソフトを使用した給与計算処理に至る一連の処理フローを実機で体感、その実力を評価いただき、Time P@CKファンがさらに増えています。



パーキングシステム事業

1枚のICカードを 駐車場で、入退室で、出退勤で、多目的に使用 異なる認証が可能なICカード（身分証）を共同開発

1枚の顔写真入りICカード（身分証明書）だけで、駐車場の入退場管理も、勤怠管理も、セキュリティエリアにおける入退室管理もできるようになりました。これを実現したのは、UHF帯^(※1) ICチップと非接触型ICチップを1枚のカードに内蔵したハイブリッドICカード。アマノと大日本印刷株式会社（DNP）が共同開発しました。

オフィスの勤怠管理やセキュリティエリアへの入退室管理は、通信距離の短い非接触ICチップ（MIFARE^(※2) やFeliCa^(※3) 他）を使ったICカードが必要であり、一方、工場・病院・公共施設などの敷地に車両で入退場する場合は、通信距離の長いUHF帯ICチップを使用したタグカードが必要で、通常は一人が2枚のICカードを使い分ける必要がありました。

このハイブリッドICカードを利用した病院トータルソ

リューションシステムが、熊本市の病院に導入されました。

顔写真入りのICカードは、通常、病院スタッフや業者の職員証／身分証明書として使用しますが、職員駐車場へは同一のICカードでスムーズに入退場ができます。診察外来者や入院者の家族や見舞いに来院される方は受付窓口で発行する駐車サービス券を利用することで、院内駐車場の無断駐車がなくなりました。

今まで手書きで処理していた出勤簿も、ICカードタイムレコーダーを利用したシステム化で、勤怠集計処理から給与計算まで、業務効率の大幅な改善が可能となりました。また、これまで鍵による施錠管理を行っていた部外者立ち入り禁止の区域や部屋へも、同じICカードでスムーズにアクセス管理、オートロックができるようになりました。



(※1) UHF：Ultra High Frequency（極超短波）の略。国際電気通信条約による無線通信規則に定められている電波の周波数帯区分のひとつ。

(※2) MIFARE（マイフェア）は、NXPセミコンダクターズの登録商標です。

(※3) FeliCa（フェリカ）は、ソニー株式会社の登録商標で、ソニーが開発した非接触ICカードの技術方式です。

事業別活動報告

環境システム事業

アジア地域への日系企業進出で、
環境関連機器が好調

アマノは、台湾系EMS^(*)企業にアマノ中国生産のミストコレクター「MZ-15C」を今年度1,500台受注いたしました。これは、デジタル家電製品や音楽関連ソフトウェアで圧倒的なシェアを誇る米国系多国籍企業が“環境に配慮したもののづくり推進”の一環で、生産委託した台湾系企業の製造ラインのすべてに、アマノ中国製のミストコレクター「MZ-15C」を設備することになったためです。

インドネシアでは2億4千万人といわれる人口を抱えて内需が拡大、日系企業が相次いで進出しており、特に2輪車（オートバイ）の販売が好調で、この好景気の影響で各部品メーカーもこれに追随しており、現地生産工場へのアマノ集塵機の設置台数も伸長しています。



(*) EMS : Electronics Manufacturing Service
電子機器の受託生産を行うサービスのこと。

『ゼオライト濃縮プラズマ触媒酸化式VOC除去装置』が
『優秀環境装置表彰』会長賞を受賞

2010年6月30日、アマノの『ゼオライト濃縮プラズマ触媒酸化式VOC^(*)除去装置』^(*)が、『第36回優秀環境装置表彰』において、開発技術・機能・性能・経済性（ランニングコスト）・将来性などのポイントが総合的に評価され、『日本産業機械工業会会長賞』を受賞しました。



(*) VOC : 印刷・塗装・洗浄・接着などの作業工程から排出されるトルエン・キシレン・酢酸エチルなどの揮発性有機化合物。大気中の化学反応によって人体に有害な光化学オキシダントや浮遊粒子物質を生成します。

(*) 受賞したアマノの『VOC除去装置』：
VOC処理空気を装置内に吸引して、吸着能力に優れた合成ゼオライト（吸着ローター）に通過させVOC成分を吸着捕集し、次に吸着捕集成分をアマノ独自のプラズマ触媒部で酸化分解します。
コンパクトで簡単操作、優れたメンテナンス性、安価なランニングコスト（省エネ）、優れたVOC除去能力、低環境負荷、少風量低濃度の設備を対象とした低コストVOC除去マシンです。

グループ会社TOPICS

国内グループ会社を統合
連携強化とお客様への更なるサービス向上を目指して

2010年10月1日をもって、国内グループ会社の統合を行いました

●アマノタイムビジネス株式会社（ATB社）をアマノ ビジネスソリューションズ株式会社（ABS社）に統合

ATB社は、これまで「時刻配信サービス」と「時刻認証サービス」に特化した事業を展開してまいりましたが、このたびABS社が培ってきたアウトソーシング・ビジネスの強みと融合させることで、次世代ビジネスといわれるクラウド・コンピューティングへの対応に向けて、更なる新規ビジネスの拡大を目指します。

《ABS社ホームページ》

- ・ <http://www.i-abs.co.jp/>
- ・ <http://www.e-timing.ne.jp>（時刻配信・認証サービス事業）

●アマノ・エコ・テクノロジー株式会社（AET社）を アマノメンテナンスエンジニアリング株式会社（AME社） に統合

AET社は、これまで電解水システム事業を展開してまいりましたが、このたびAME社の卓越した営業力・施工力・サービス力に、AET社の機能水技術開発力と応用ノウハウを融合させて、新たなソリューションの提供とお客様への更なるサービス向上を目指します。

《AME社ホームページ》

- ・ <http://www.amano-ame.co.jp/>
- ・ <http://www.amano-aet.co.jp/>（電解水事業）

イギリス市場にチャレンジ 現地法人「AMANO UK Ltd.」設立

2012年にロンドンオリンピックを控えたイギリスに、昨年夏、現地法人AMANO UK Ltd.（AUK社）を設立いたしました。

アマノ製品のイギリスにおける歴史は古く、これまでは代理店及びその販売網を通じて営業を展開してきましたが、このたびのAUK社設立により、直販体制でのイギリス市場の拡大を目指します。

AUK社の拠点は2箇所あり、パーキング営業部門はロンドンの南、ガトウィック空港の南隣クローリーの地に、また、タイム部門はロンドンの北西部コッツウオルズ丘陵地帯にあるチェルトナムの地に配して、アマノヨーロッパグループ各社との連携強化のもと、イギリスの“古くて新しい”市場に果敢にアタックしてまいります。

《AUK社ホームページ》

- ・ <http://www.amano-tcs.co.uk>

アマノ大阪支店ビル新社屋完成

「水の都・大阪」に縁（ゆかり）の地名を残す立売堀（いちばり）（大阪市西区；四ツ橋線 本町下車）に50年近くの歴史を刻む大阪支店ビルは、2010年3月末に増改築工事が完了し、4月6日に竣工式が行われました。

屋上緑化、バリアフリートイレ、オール電化・省エネ設計などの環境配慮が施されたインテリジェントビルに生まれ変わりました。敷地面積は旧ビルと合わせて585.7㎡、延べ床面積3,872.5㎡。支店・営業部及びグループ会社支社を含めたスタッフ総勢は130余名。

近畿営業本部の機能中枢として“難波（なにわ）”のアマノファンの維持と拡大にスタッフ全員一丸となって邁進してまいります。



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	第94期	第95期
	(前連結会計年度末) (平成22年3月31日現在)	(当第2四半期連結会計期間末) (平成22年9月30日現在)
流動資産	54,735	55,602
現金及び預金	23,675	25,932
受取手形及び売掛金	21,134	19,190
有価証券	1,226	1,189
商品及び製品	2,883	2,863
仕掛品	685	786
原材料及び貯蔵品	2,448	2,750
繰延税金資産	1,105	1,152
その他	1,790	1,907
貸倒引当金	△ 214	△ 171
固定資産	45,951	45,918
有形固定資産	22,956	22,769
建物及び構築物(純額)	11,921	11,570
機械装置及び運搬具(純額)	1,300	1,125
工具、器具及び備品(純額)	1,105	1,086
土地	7,161	7,179
リース資産(純額)	1,384	1,629
建設仮勘定	83	177
無形固定資産	11,901	10,989
のれん	6,776	5,849
ソフトウェア	4,174	3,231
ソフトウェア仮勘定	278	624
その他	671	1,283
投資その他の資産	11,093	12,160
投資有価証券	4,514	4,338
長期貸付金	19	15
破産更生債権等	530	454
差入保証金	1,093	1,086
繰延税金資産	2,333	2,380
長期預金	533	1,700
その他	2,542	2,626
貸倒引当金	△ 473	△ 441
資産合計	100,687	101,521

負債の部	第94期	第95期
	(前連結会計年度末) (平成22年3月31日現在)	(当第2四半期連結会計期間末) (平成22年9月30日現在)
流動負債	19,423	22,617
支払手形及び買掛金	9,008	8,764
短期借入金	19	1,864
リース債務	476	367
未払法人税等	679	1,187
賞与引当金	1,639	1,760
役員賞与引当金	8	—
その他	7,592	8,672
固定負債	6,296	6,342
長期借入金	25	11
長期未払金	541	293
リース債務	1,231	1,661
繰延税金負債	362	296
退職給付引当金	3,883	3,666
その他	252	413
負債合計	25,719	28,960
純資産の部		
株主資本	79,985	79,467
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,567	19,567
利益剰余金	45,895	45,378
自己株式	△ 3,717	△ 3,717
評価・換算差額等	△ 6,083	△ 8,033
その他有価証券評価差額金	△ 117	△ 227
為替換算調整勘定	△ 5,966	△ 7,806
少数株主持分	1,066	1,127
純資産合計	74,967	72,561
負債純資産合計	100,687	101,521

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)
33,444百万円	34,111百万円

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	第94期 (前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	第95期 (当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	37,822	39,927
売上原価	21,305	22,312
売上総利益	16,517	17,614
販売費及び一般管理費	16,334	16,384
営業利益	182	1,230
営業外収益	297	429
受取利息及び受取配当金	76	72
投資有価証券割当益	—	123
その他	220	232
営業外費用	80	217
支払利息	15	16
為替差損	—	159
その他	64	40
経常利益	400	1,441
特別利益	32	63
固定資産売却益	3	4
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	27	57
その他	1	1
特別損失	13	285
固定資産除却損	6	1
固定資産売却損	3	2
投資有価証券評価損	3	146
事業譲渡損	—	129
その他	0	5
税金等調整前四半期純利益	419	1,219
法人税等	289	651
少数株主損益調整前四半期純利益	—	568
少数株主利益	75	89
四半期純利益	54	478

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 税効果会計の適用に当たり「簡便法」を採用しておりますので、法人税等は法人税等調整額を含めた金額で一括掲記しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	第94期 (前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	第95期 (当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,929	6,101
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,302	△ 4,163
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,118	632
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 312	△ 195
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	3,195	2,374
現金及び現金同等物の 期首残高	16,708	20,932
新規連結に伴う現金及び現金同等物の 増加額	110	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	20,015	23,307

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
2. 現金及び現金同等物の四半期末残高と第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び預金勘定 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 現金及び現金同等物	22,728 百万円 △2,713 20,015
	25,932 百万円 △2,624 23,307	

●連結決算

(単位：百万円)

	第91期		第92期		第93期		第94期		第95期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
	平成18年4月1日～ 平成18年9月30日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日	平成20年4月1日～ 平成21年3月31日	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
売上高	41,393	85,769	45,307	93,351	47,855	91,812	37,822	78,586	39,927
営業利益	4,699	10,143	5,020	10,011	3,060	5,371	182	1,927	1,230
経常利益	4,702	10,205	5,419	10,534	3,283	5,293	400	2,436	1,441
四半期(当期)純利益	2,682	5,961	3,145	6,104	1,720	2,214	54	1,010	478
1株当たり四半期(当期)純利益	33円45銭	74円29銭	39円15銭	75円96銭	21円46銭	28円14銭	71銭	13円20銭	6円25銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	33円43銭	74円24銭	39円14銭	75円94銭	21円46銭	—	—	—	—
配当性向	—	40.4%	—	44.8%	—	105.9%	—	197.0%	—
総資産	107,969	111,487	115,107	116,950	114,471	102,192	101,474	100,687	101,521
純資産	80,836	83,620	86,050	86,307	83,047	75,394	75,580	74,967	72,561

●単独決算 (ご参考)

(単位：百万円)

	第91期		第92期		第93期		第94期		第95期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
	平成18年4月1日～ 平成18年9月30日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日	平成20年4月1日～ 平成21年3月31日	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
売上高	33,274	68,187	34,965	70,902	33,411	64,184	25,006	52,768	27,123
営業利益	3,913	8,431	3,948	7,725	2,301	3,727	△299	1,339	1,333
経常利益	3,975	8,563	4,363	8,363	2,764	4,305	6	1,940	1,756
四半期(当期)純利益	2,336	5,003	2,463	4,848	1,702	2,132	△274	882	994
1株当たり四半期(当期)純利益(%)	29円13銭	62円36銭	30円66銭	60円33銭	21円24銭	27円10銭	△3円58銭	11円53銭	12円98銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	29円11銭	62円31銭	30円65銭	60円32銭	21円24銭	—	—	—	—
配当性向	—	48.1%	—	56.4%	—	109.9%	—	225.6%	—
総資産	104,054	105,807	106,725	107,226	105,631	99,129	95,813	96,784	97,610
純資産	80,185	81,788	82,855	83,586	82,814	79,630	78,549	78,706	78,594

(※) 自己株式控除後の期中平均発行済株式総数により算出しております。

社名 アマノ株式会社
 AMANO Corporation
 本社所在地 〒222-8558
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 TEL 045-401-1441 (代表)
 FAX 045-439-1120
 ホームページ <http://www.amano.co.jp/>
 創業 1931年(昭和6年)11月3日
 設立 1945年(昭和20年)11月22日
 資本金 182億3,958万円(平成22年9月30日現在)
 従業員数 2,201名(平成22年9月30日現在)
 営業品目 《企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス》
 ●情報システム事業
 ●時間管理機器事業
 ●パーキングシステム事業
 ●環境システム事業
 ●クリーンシステム事業
 ●エコロジー事業
 ●アウトソーシング事業
 ●時刻配信・認証サービス事業

役員 (平成22年9月30日現在)

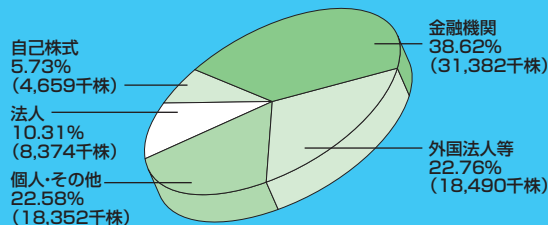
代表取締役社長	春田	薫彦
代表取締役専務	山口	雄彦
取締役 常務執行役員	草薙	稔
取締役 常務執行役員	小山	明
取締役 常務執行役員	井村	行
取締役 常務執行役員	田畑	泉
取締役 常務執行役員	中島	顕
取締役 常務執行役員	宇山	弘
取締役 執行役員	白石	
常勤監査役	上海	敬和
常勤監査役	野野	三男
監査役(社外)	上海	野啓
監査役(社外)	菱山	泰榮
執行役員	今野	正幹
執行役員	中野	直樹
執行役員	野川	文吾
執行役員	小堀	健司
執行役員	岸野	文雄
執行役員	上野	亨
執行役員	赤木	毅
執行役員	金子	裕
執行役員	寺崎	功
執行役員	井原	邦弘

※監査役上野啓、菱山泰榮の両氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況

- 株式情報 (平成22年9月30日現在)
- 発行可能株式総数 185,476,000株
 - 発行済株式の総数 81,257,829株
 - 株主数 19,305名

所有者別株式分布状況



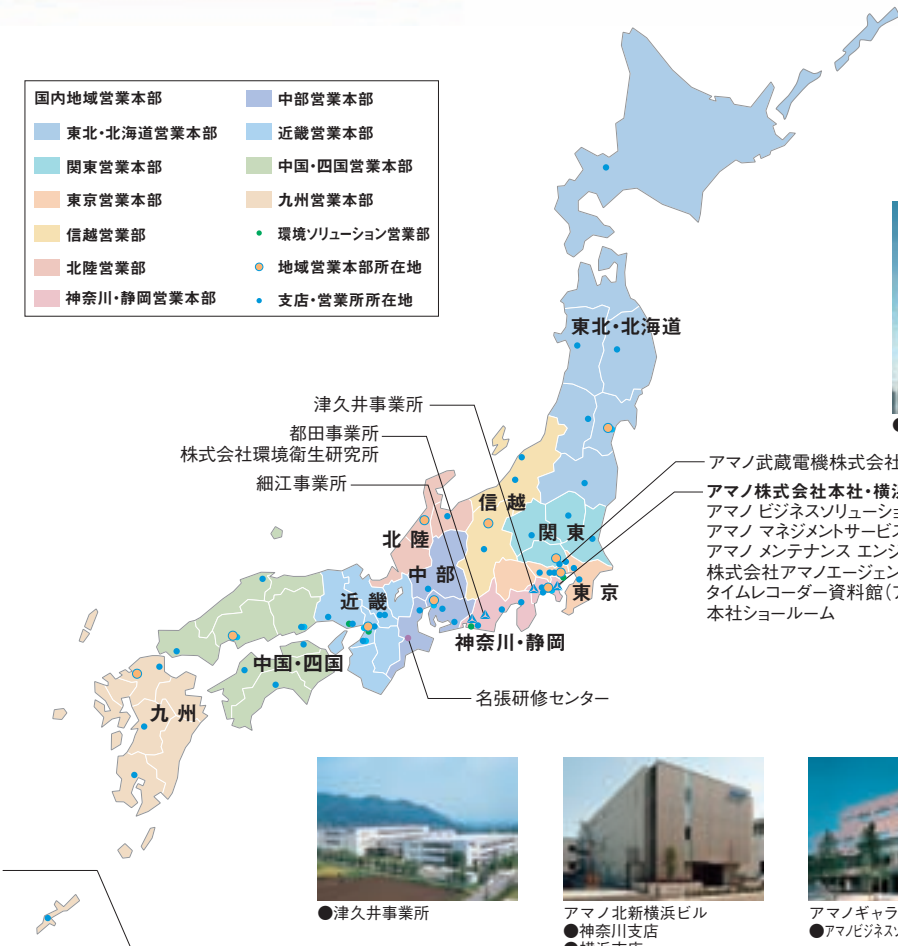
●大株主(上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウンタメリカンクライアント (常任代理人香港上海銀行東京支店)	8,390	10.95
第一生命保険株式会社	6,695	8.74
財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.92
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99
日本生命保険相互会社	3,743	4.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	3,111	4.06
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,000	3.91
東京海上日動火災保険株式会社	2,948	3.84
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リニューエスタックスエクゼクティブペンションファンズ (常任代理人香港上海銀行東京支店)	2,862	3.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	1,794	2.34

(注) 1. 当社は、自己株式4,659千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

AMANOネットワーク

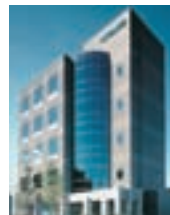
国内地域営業本部	中部営業本部
東北・北海道営業本部	近畿営業本部
関東営業本部	中国・四国営業本部
東京営業本部	九州営業本部
信越営業部	環境ソリューション営業部
北陸営業部	地域営業本部所在地
神奈川・静岡営業本部	支店・営業所所在地



●札幌支店



●仙台支店



●大宮支店



●アミノ武蔵電機株式会社



●本社・横浜事業所
●株式会社アミノエージェンシー



●津久井事業所



アミノ北新横浜ビル
●神奈川支店
●横浜支店



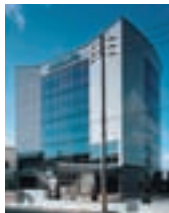
アミノギャラクシービル
●アミノビジネスソリューションズ株式会社



アミノ第2ギャラクシービル
●アミノマネジメントサービス株式会社
●アミノメンテナンスエンジニアリング株式会社



●広島支店



●岡山支店



●大阪支店
●アミノビジネスソリューションズ(株)近畿センター



●名古屋支店

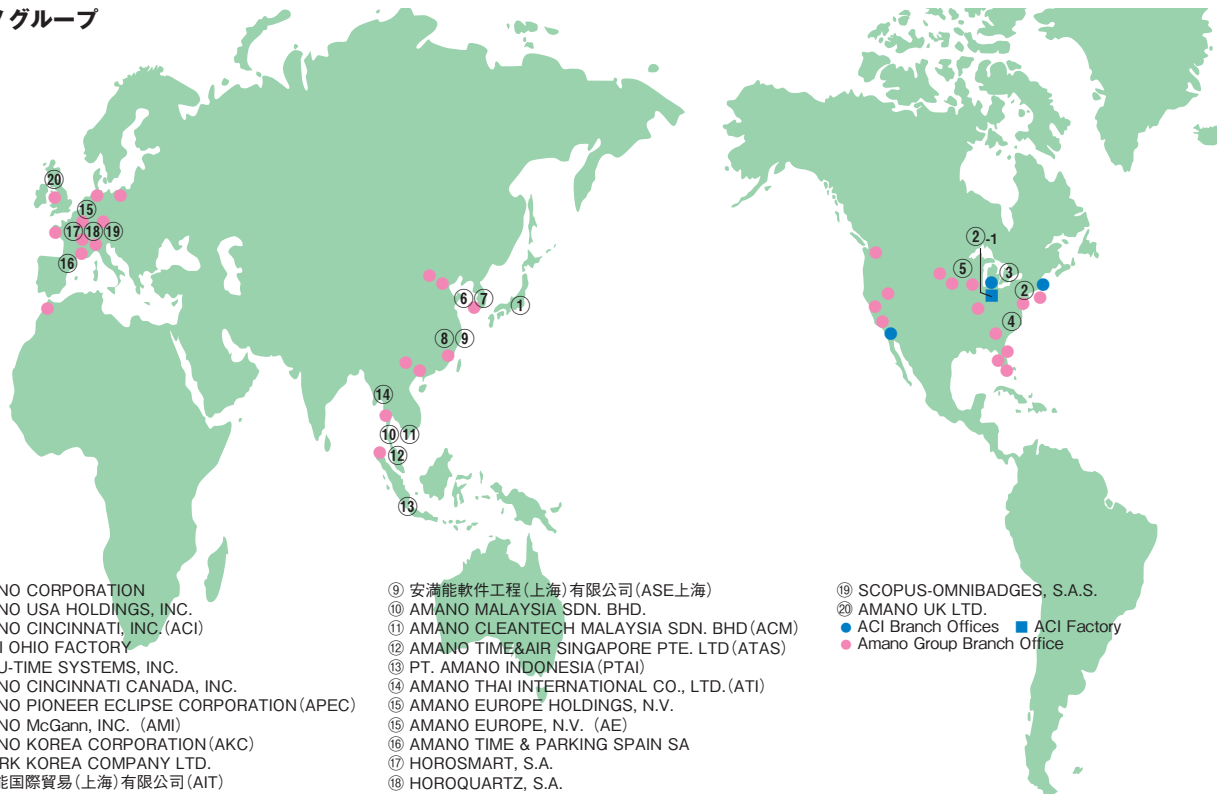


●細江事業所



●都田事業所
●株式会社環境衛生研究所

アマノグループ



- ① AMANO CORPORATION
- ② AMANO USA HOLDINGS, INC.
- ③ AMANO CINCINNATI, INC. (ACI)
- ②-1 ACI OHIO FACTORY
- ② ACCU-TIME SYSTEMS, INC.
- ③ AMANO CINCINNATI CANADA, INC.
- ④ AMANO PIONEER ECLIPSE CORPORATION (APEC)
- ⑤ AMANO McGann, INC. (AMI)
- ⑥ AMANO KOREA CORPORATION (AKC)
- ⑦ @PARK KOREA COMPANY LTD.
- ⑧ 安満能国際貿易(上海)有限公司(AIT)

- ⑨ 安満能軟件工程(上海)有限公司(ASE上海)
- ⑩ AMANO MALAYSIA SDN. BHD.
- ⑪ AMANO CLEANTECH MALAYSIA SDN. BHD.(ACM)
- ⑫ AMANO TIME&AIR SINGAPORE PTE. LTD (ATAS)
- ⑬ PT. AMANO INDONESIA (PTAI)
- ⑭ AMANO THAI INTERNATIONAL CO., LTD.(ATI)
- ⑮ AMANO EUROPE HOLDINGS, N.V.
- ⑮ AMANO EUROPE, N.V. (AE)
- ⑯ AMANO TIME & PARKING SPAIN SA
- ⑰ HOROSMART, S.A.
- ⑱ HOROQUARTZ, S.A.

- ⑲ SCOPUS-OMNIBADGES, S.A.S.
- ⑳ AMANO UK LTD.
- ACI Branch Offices
- ACI Factory
- Amano Group Branch Office

高品質・高効率を実現する生産拠点

本社・横浜事業所



神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 TEL: 045(401)1441 FAX: 045(439)1120
 ●タイム情報ソフトウェア、駐車場機器、
 電解水生成装置 他
 ●ISO9001:2008

津久井事業所



神奈川県相模原市緑区長竹236番地3
 TEL: 042(784)7441 FAX: 042(780)7107
 ●情報システム機器、電子タイムレコーダ、
 プリント基板、プラスチック成形部品 他
 ●ISO9001:2008 / ISO14001:2004

細江事業所



静岡県浜松市北区細江町気賀8123番地
 TEL: 053(522)0951 FAX: 053(527)0002
 ●集塵機、集塵装置、掃除機、フロア清掃機、
 脱臭装置 他
 ●ISO9001:2008 / ISO14001:2004

都田事業所



静岡県浜松市北区新都田1丁目6番2号
 TEL: 053(484)1051 FAX: 053(484)1081
 ●精密金型、切削部品 他
 ●ISO14001:2004

株主メモ	
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
期末配当金支払基準日	毎年3月31日
中間配当金支払基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<http://www.amano.co.jp/>

アマノのホームページが新しくなりました!!

最新の決算情報、アマノニュース・新製品情報、グループ会社情報などコンテンツを充実させ、「分かりやすさ」「使いやすさ」に工夫をこらしました。

今まで以上に積極的に情報発信をしております。是非、アマノホームページにアクセスをしてみてください。



TIME & ECOLOGY
AMANO.

 **アマノ株式会社**

本社 / 〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL. (045) 401-1441 (代表) FAX. (045) 439-1120



この報告書は、環境に配慮し、再生紙
と植物性インキを使用しております。